

臨床研究のお知らせ

① 試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究課題名	急性胆嚢炎に対するドレナージ治療後の手術成績の検討
	実施予定期間	倫理審査承認後（2023年7月7日）～2023年12月31日
	研究の概要	急性胆嚢炎に対して、手術前に胆嚢内にたまった胆汁や膿を体外へ排出させる治療の有無が、その後の手術にどのような影響を与えるのかを明らかにする研究です。
	対象患者	2016年1月1日から2020年12月31日の間に、当院消化器外科において、急性胆嚢炎に対して緊急手術をされた患者さんを対象とします。
② 利用又は提供する試料・情報及び個人情報の保護について	年齢、性別、合併症、術前治療内容、手術内容、術後治療経過などの既存の診療情報を利用します。結果の公表の際は、個人が特定されないように個人情報を守ります。	
③ 利用する者の範囲	県立広島病院 消化器・乳腺外科 職名 部長 氏名 濱岡道則	
④ 試料・情報の管理責任を有する者	県立広島病院 消化器・乳腺外科 職名 部長 氏名 濱岡道則	
⑤ 試料・情報の提供停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、ご自身の情報等が研究に利用されることを拒否される場合は、2023年12月31日までに⑥の窓口にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。 ただし、お申し出の時点でデータ解析等が終了している場合は、データを利用させていただくことがありますのでご了承ください。	
⑥ ⑤の受付	⑤ について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 消化器・乳腺外科 職名 部長 氏名 濱岡道則 TEL（代表）：082-254-1818（平日8時30分～17時15分）
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		